

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

尾道地区

令和6年4月

広島県尾道市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	入込観光客数	万人/年	365	386.1	400.8	確定		104%	あり	●	324.3	令和5年6月	△	令和4年1月～3月に発令されたまん延防止等重点措置をはじめとするコロナ禍の影響が想定以上に大きかったため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	令和3～4年にかけて総観光客数及び入込観光客数は増加傾向であり、令和2～3年のコロナ禍においても入込観光客比率(入込観光客数/総観光客数)は一定であることから、新型コロナウイルスによる行動制限が撤廃された令和5年5月以降は、総観光客数の増加に伴い、入込観光客数も増加すると予想する。
						見込み	●		なし							
指標2	ロープウェイ利用客数	万人/年	41.5	46.6	49.4	確定		106%	あり	●	48.3	令和5年6月	○		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	コロナ期終盤であったが、令和4年3月にオープンした新展望台(千光寺公園頂上リニューアル事業)の整備効果によりロープウェイ利用客数が増加したと考えられる。
						見込み	●		なし							
指標3	レンタサイクル利用客数	万人/年	6.8	9.9	6.5	確定		66%	あり		6.9	令和5年6月	△	コロナ禍の影響が想定以上に大きかったこと、さらに外国人入国制限により、外国人利用客数が低調であったため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	令和4年のレンタサイクル利用客数は増加傾向にあるが、10月まで外国人観光客の入国が制限されていたことから、外国人利用客数が低調であった。制限解除後の外国人利用客数は増加傾向であることから、今後は総観光客数の増加とともに、外国人利用客数の増加、さらにレンタサイクル利用客数も増加すると考えられる。
						見込み	●		なし	●						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	「尾道らしい景観や風景が良好に保全されている」に対する満足度	%	68.7		70	確定	●						☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事後評価において、満足度は上昇しており、千光寺公園頂上リニューアル事業や寺社ライトアップ等の夜間景観整備が寄与したと考えられる。
その他の数値指標2	商店街の休日一日通行量(ゆとり広場・ほっと蔵前、旧さんばストア付近の合計)	人	3904		4429	確定	●						☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	計画的に進めている道路美化等の整備により、事業付近の歩行者通行量が高まり、観光を中心とした回遊性向上に一定の効果をもたらしたと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	交流人口の拡大(資源を活かした経済効果に結び付け 取組の強化、日常的な賑わいの向上)	・旧三井住友銀行尾道支店と企画展示コーナーがある尾道商 業会議所記念館の隣接地において憩いの広場整備事業を実 施。(R6.3完了) ・レンタサイクル事業として、利便性の向上に向けて、令和5年度 に利用者向けアプリによる旅行者の周遊促進、予約受付のオン ライン化・支払いのキャッシュレス化などDX化に取り組んだ。	・まちなかの憩いの広場は、市民・観光客の憩いの 場所として、市民活動や観光客の交流の場となっ ている。 ・アプリ等によるDX化は、レンタサイクルの利便性 を高め、外国人利用客を含めた観光客増加やレン タサイクル利用客の増加に寄与しており、令和5年 の外国人利用客比率はコロナ禍前を上回る見込 み。	・尾道観光の玄関口となるJR尾道駅隣接のしまなみサクラ公園 の事業化の検討を引き続き行う。 ・観光客の回遊性向上に向けて、空き地等の利活用をふまえな がら、歴史的建造物や神社仏閣を含む眺望景観を楽しむための 滞留スペースや案内看板等の整備に向けた検討を行う。 ・レンタサイクル事業は、民間レンタサイクル店との役割分担等を 踏まえながら、レンタサイクルターミナルの特長等を活かして、引 き続き利用促進や利便性向上、情報発信に取り組む。 ・公共交通との乗換利便性の向上や観光客に対する公共交通の 利用促進とともに、交通結節点における待合環境の整備や公共 交通と自転車利用の連携促進を検討する。
	歴史的風致の維持・向上と一体となった道路環境の改 善	・尾道を代表する歴史的建造物の保全・活用と連携して道路美 装化に取り組んでおり、令和5年度は、尾道駅前尾崎線の歩道 の美装化を実施した。 ・千光寺公園内のサイン看板のデザイン統一及び観光マップと の連携による回遊性・利便性向上を目的として、千光寺公園内 のサインリニューアルに向けて実施設計を行った。	・歴史的建造物をつなぐ観光ルートの道路美装化 は、景観形成の効果だけでなく、観光施設やまちな かの回遊性の向上に寄与している。令和5年度に 実施した道路美装化は、国宝浄土寺への回遊につ なげている。	・まちなかの回遊性向上に向け、引き続き主要な通りや小路、観 光ルートの美装化を計画的に実施する。 ・尾道市の観光拠点施設である千光寺公園の持続的な観光客の 誘致と増加、定着を目指して、施設の維持管理やサイン整備に取 組む。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	老朽化が危ぶまれる歴史的・文化的価値の高い建造 物の保存・再生	・重要文化財の防災防犯施設整備工事を実施するとともに、歴 史的風致形成建造物等の整備・修復整備として、まちなか回遊 ルート沿いの旧三井住友銀行尾道支店の改修を実施した。 ・地域に点在する歴史的建造物を維持・保全するため、歴史的 建造物調査事業として建物の調査を実施し、あわせて建造物の 修景に対する補助事業を実施した。	・企画展示コーナーがある尾道商業会議所記念館 と、隣接する憩いの広場及びまちなか文化交流館 (元三井住友銀行尾道支店)の改修は、まちなかの 回遊性を高める拠点となっている。 ・歴史的建造物の所有者の協力を得ながら建物調 査や修景に対する補助事業を実施することで、建 造物の維持・保全や良好な景観の形成に寄与して いる。	・歴史的建造物の整備・修復は、所有者の協力を得ながら着実 に取り組む必要がある。引き続き、制度内容や周知方法につい ての検討を行う。 ・地域に点在する歴史的建造物に対して、整備・修復を見据えた 継続的な建物調査に引き続き取り組む。 ・観光の核となす神社の保存修理等による歴史的建造物の維持・ 保全に取り組む。 ・歴史的風致の維持向上を図ることを目標として、景観計画第2期 計画に位置付けた歴史・文化・景観を礎とした事業に取り組む。
	歴史的風致の維持・向上を目的とした情報発信、市民 意識の向上	・関連する3つの日本遺産の情報発信として、イベントへの出展 や観光施設等へのパンフレットの配布を行うとともに、おのみち 歴史博物館、まちなか文化交流館(元三井住友銀行尾道支 店)、因島水軍城で展覧会を実施した。 ・人材育成を目的として文化遺産パートナー要講座等の開催 するとともに、福山市・尾道市の観光ガイド団体の交流会の実 施により、ガイド研修や活動報告を行った。 ・国土交通省と連携して、令和5年4月から『Pokémon GO』のポ ケストップの設置、令和5年10月から歴まち認定都市の象徴的 な風景写真等を掲載した歴史まちづくりカード(歴まちカード)の 配布を開始した。	・日本遺産の認知度向上や本市、しまなみ海道へ の誘客促進のほか、調査研究、活用、ガイドを行う 人材育成につながっている。 ・歴まちカードの配布や世界中で人気の『Pokémon GO』のポケストップの設置は、国内・国外から新た な属性の来訪者の増加や認知度の向上に寄与し ている。	・引き続き、イベント参加や出展等により、本市の歴史的資源等 の情報発信、企画展示や出前講座等による市民の景観・歴史文 化を学ぶ機会の拡大、定期的な他の自治体の観光ガイド団体と の交流に取り組む。 ・国内・国外からの新たな属性の来訪者の観光誘客につなげるた め、広域連携によるPRIに取り組む。
	人口減少や高齢化に対応した空き地等の有効活用と 維持管理	・地域の活性化や良好な景観の形成の促進のほか、未利用空 地となることを防止するため、空き家再生促進事業による空き家 の再生・利活用に取組んだ。	・建物の利活用や敷地の維持管理が図られること で、景観の保全、生活環境の向上、地域の活性化 につながっている。	・引き続き、地域の活性化につなげるため、空き家再生促進事業 による空き家の再生・利活用に取り組む。 ・新たな展望台や視点場の整備による観光客の回遊性向上に向 けて、観光ルート沿線における空き家や空き地等を活かした交流 空間の創出について検討する。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項